

【学校に行きたくない子どもを減らそう！】【教育保育3班】

岡山県立高梁高等学校 2年次 藤森愛心・前原理・妹藤季巳・小川由乃

1背景・目的

不登校削減をテーマとして活動していた中で非認知能力というワードが出てきて、非認知能力が与える効果について調査している。

2実践・調査

○非認知能力とは…

知能検査、学力検査では測定できない能力

やる気、忍耐力、協調性、自制心などがあげられる

○福地小学校に訪問

小規模特認校である福地小学校に訪問し、小規模特認校ならではの取り組みや、非認知能力について尋ねた。

○新見南中学校・高梁東中学校に訪問

ステップルームのある新見南中学校に訪問し不登校支援のことや、ステップルームのことについて尋ねた。高梁東中学校に訪問し不登校支援のことについて尋ねた。

ステップルーム(校内フリースクール)とは教室に居づらい子が過ごせるような場所を作って、担当教員を配置してサポートする仕組み

○津川小学校学童保育に訪問

実際に津川小学校の学童保育の児童に非認知能力を高めるレクリエーションを行い、効果があるかアンケートを取る。

【アンケート内容】

- 5 イライラする気持ちを抑え込んで耐えられる
- 3 落ち込むことがあっても、切り替えられる
- 8 マナーやルールを守って行動できる
- 9 相手の気持ちや考えを理解して関わることができる

3結果

○福地小学校に訪問

福地小学校では、非認知能力を高めるために子どもたちの良い行動に対してカードを渡し、意欲を高めるような取り組みを行っている。



朝「コグトレ」という非認知能力や認知能力を高める取り組みをしている。

(福地小では認知能力を高める取り組み)

○新見南中学校・高梁東中学校に訪問

新見南中学校のステップルームでは一人ひとりの特性や性格にあった取り組みや過ごし方がされていた。南中学校でもボードゲームなどを通して非認知能力を高める取り組みがされていた。

○津川小学校学童保育に訪問



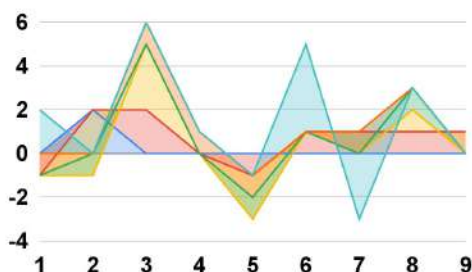
4考察

非認知能力は目に見えない力なのでカードを用いるなどして可視化することが大切
学校に来る目的を作ることが大切

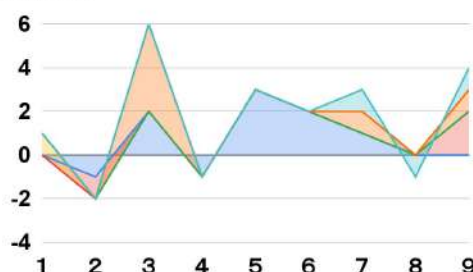
5結論

非認知能力を高めることで他者と協働する力、忍耐力などが身につく
これらの力が身につくことで学校に行きたくない子どもを減らすことにつながるのではないかな

8月19日



8月27日



両日とも3の項目が上がっている

8/19のグラフから5の項目はほとんどの人が下がっていることが分かる

8/27のグラフから8の項目は下がり、9の項目は上がっていることが分かる



参考文献

: <https://mana-hagu.com/ncs-high-children/>